

令和3年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	唐津市立伊岐佐小学校 児童数 36人	担当者名	武田 陽子 米倉 清美
住所	郵便番号 849-3223 唐津市相知町相知伊岐佐甲60番地	電話番号	0955-62-2701

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱については、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

宣言	目標	レッツゴー図書室！本を読んで世界をひろげよう！
	取組期間	令和3年 4月 1日 ~ 令和3年11月 30日

※令和3年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和3年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

評価	取組人数	36人	実施日数	130日	読書冊数	3436冊	連携した団体数	1団体
	取組内容（概要）	①図書委員・司書による活動 ②地域図書館との連携 ③児童の発表の場としての図書室						
	工夫したこと	①図書委員が一人1イベントを計画、準備、実施するブックウィーク（6月）、図書館祭り（10~11月）を実施した。本年度は、とっておきの場所を選んでの読み聞かせ、ブックンカード作り、図書室のマスコットブックにゃんをつくろう、つながれ読書の輪伊岐佐っ子バージョン（本の紹介リレー）、ハロウィンのしおりづくりなどを行っている。また、司書が中心となり継続したイベント、ポップをかいてみよう、しずくのカーテンで図書室を飾ろう、ブックン綱引き大会、ハロウィンのモンスターがつかまった、本を読んでクリスマスツリーを飾ろうなどを行っている。 ②地域図書館の司書を講師として招聘し、アニメーション体験を企画した。1,2年生は、生活科の学習として、公共図書館の利用を行った。 ③学習の成果物を図書室に展示している。『ことわざ』『本のポップ』などを掲示したり、『とりのくちばしクイズ図鑑』や『じどうしゃ図鑑』は本棚に並べたりした。						
	取り組んだ感想	図書委員会が企画するイベントと同時並行して、図書室に通いたくなる継続した取り組みを行ったので、楽しんで図書室に通う子が増えている。本のポップづくりなど、書きたくなる大きさの紙を用意したことで、口コミで広がり、多くの子が取り組んだ。						
	これまでの取組や今後の取組予定	図書委員会の児童の思いを大切にしたい企画を中心に進めていきたい。 本を借りるだけでなく、児童の活躍の場、ほっと一息つける場になるようなイベントとして、クリスマス会を行う予定である。学習の発表をしたり、自分の作品を展示したり、思わず足を運びたいような企画を進めていく。						

①図書委員・司書企画のイベント

【学校の中のとっておきの場所一番涼しい階段で読み聞かせ】



階段なので、ちょうど絵本も見やすく好評だった。



【ブックンカード作り】

本校図書室マスコット

ブックン ブックワン ブッコちゃん



図書館祭りで使うブックンカード作り



【図書室のマスコットブックにゃんをつくろう】

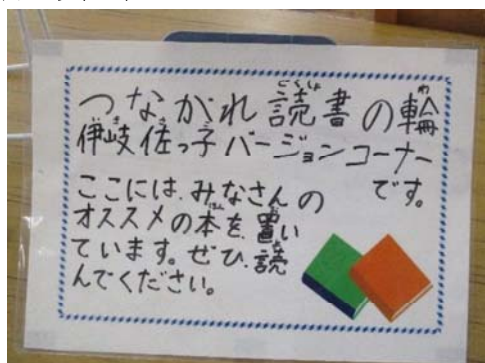


委員会発表で新しい仲間ブックにゃんを作ることをお知らせした。

一冊借りると、1ピース折り紙を貼ることができる。みんなで作成させた。

【つなぐれ読書の輪伊岐佐っ子バージョン】

図書委員が、おすすめの本をインタビューし、給食時間の放送や本の展示を行った。



【ポップをかいてみよう】



【しずくのカーテンで図書室を飾ろう】



【伊岐佐ミュージアム】



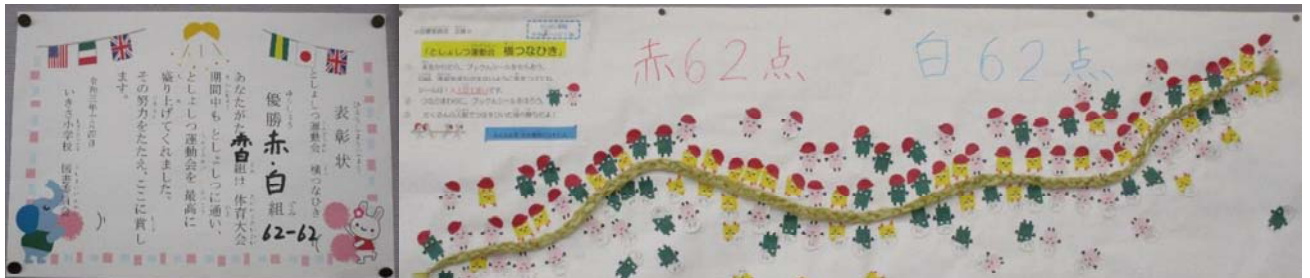
モザイクアート。どんな絵ができあがるのか予想しながら取り組んだ。

【モンスターがつかまった】



【ブックン横綱引き大会】

運動会期間中に、本を1冊借りると自分の組の帽子をかぶったブックンを貼った。何と赤白同点！



【本を読んでクリスマスツリーを飾ろう】



ここに
かざろうかな。



②地域図書館との連携

アニメーション 「まちがいをさがせ」

1,2年生、生活科「相知図書館へ行ってみよう」



③児童の発表の場としての図書室

【自動車について調べて、できあがった図鑑を図書室に。】



【読書カードの掲示】

雪だるまの体に文章を書く。顔の表情も本に合わせてかいて楽しんだ。読んだ感想を手袋や長ぐつに書くことができるようにした。

【国語の時間につくったことわざ辞典の展示】

